

ウイルスを克服し、

希望の光が見える「復活」の年に



播磨町長

清水ひろ子

新年 明けましておめでとうございます。

昨年の年明けから瞬く間に世界中に広がった「新型コロナウイルス」は、未だ終息の見込みも立たないまま、新しい年2021年を迎えました。本年が皆さま方にとっても、世界中の人々にとっても、ウイルスを克服し、希望の光が見える「復活」の年となりますように。

「新型コロナウイルス」で、住民生活、地域コミュニティ、子どもたちの学校生活、文化・スポーツ活動、諸団体の運営、企業・商業経営、イベント・行事など、あらゆる社会活動が影響を受けました。そうした中で「マスク着用」「消毒」「ソーシャルディスタンス」も定着しました。「新しい生活様式」を徹底することで、守られる「いのち」があり、無事に過ぎていく「日常」があるのなら、こうした個々の努力や習慣は安全な地域社会づくりにも繋がっていくものと思っております。同時に、感染者への理解と配慮も忘れない社会でありたいと思っております。

現在、感染拡大防止を考慮して様々な活動が停滞していますが、復活を願う人々の期待に応えられるよう、行政といたしましても生活応援や、経済活動支援を引き続き行い、まちの活力を維持してまいります。

来年に控えた「町制施行60周年」を、皆さま方とご一緒に明るくい気持ちで迎えられますように、今年一年の「平穏」と「無事」を心よりお祈り申し上げます。

住民代表の務めを果たす議会として



播磨町議会議長
神吉 史久

新年あけましておめでとうございます。

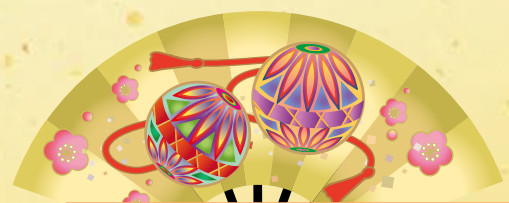
昨年は、世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大して、新たな脅威と戦う年となりました。

日本においても、緊急事態宣言の発令や東京オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとした各種のイベントが延期や中止となるなど、社会・経済に大きな影響が出ています。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。そして、大変な苦勞のなか医療体制の維持に尽力されている皆様に感謝いたします。

国民の努力により減少傾向にあった新規感染者数も、冬の訪れとともに増加に転じております。ワクチン開発などの対策も進んでおりますが、引き続き「新しい生活様式」を取り入れるなど、十分な注意をお願いいたします。

播磨町議会では、臨時議会を含め毎月議会を開催し、コロナ対策についても審議してまいりました。今後もコロナ禍への対応はもちろん、住民の福祉向上と播磨町の発展のために、住民の代表である議会の務めを果たしてまいります。つきましては、引き続き議会に対してご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

一日も早くこの事態が収束することを祈念いたしまして、新年のあいさついたします。



公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。ご理解とご協力をお願いします。



あけまして
おめでとう
ございます

議長 神吉史久
副議長 岡田千賀子
議員(議席順)

- 野北知見
- 松岡光子
- 宮宅良
- 大北良子
- 香田永明
- 大瀧金三
- 木村晴恵
- 松下嘉城
- 河野照代
- 藤原秀策
- 奥田俊則
- 藤田博